

1 くらしに希望を

最低賃金 時給 1500円へ

いますぐ全国どこでも1000円
中小企業への賃上げ支援を1千倍に

「残業代ゼロ」制度の
廃止

残業上限は「月45時間」に

正規雇用が
あたりまえのルールを
「生涯ハケン」制度やめさせる

残業代がなくても充分に生
活できる——大幅賃上げと
働きすぎ解消で、『ほんとう
の豊かさ』を実現します。だ
れもが経済的、時間的にゆ
とりをもち、消費も活発に
なって、本物の「経済好循
環」をつくれます。



8時間働けばふつうに暮らせる 社会に



3つのプラン

一部の大企業と富裕層ばかり肥え太り、
日本経済をダメにしたアベノミクス。
いまやるべきは、家計を応援し、格差と
貧困をただし、国民が明日のくらしに希
望がもてる政治へのきりかえです。



▲くわしくは
こちらから

法人税の
実質負担率
10%

大企業
18%

中小企業
10%

「消費税に頼らない別の道」で

消費税10%中止、「3つのプラン」に必要な予算は7.5兆円。

- 大企業に、中小企業なみの法人課税……… 4兆円
- 大株主優遇ただし、最高税率上げる……… 3.1兆円
- 米軍への「思いやり予算」など廃止……… 0.4兆円

「3つのプラン」実現で
消費税の3%減税と
同規模の経済効果

財源

消費も投資も輸出もマイナス
(GDP速報値)——こんな景気
悪化のなかで大増税を強行し
たら、日本経済も国民のくらしも
ドン底に。日本共産党は断固中
止を要求しています。

消費税10%
ストップ

2 お金の心配なく学び、 子育てできる社会を

大学・専門の授業料を
半額に 段階的に「0円」へ

70万人に月3万円
給付制奨学金
奨学金は無利子に

認可保育園の
30万人分増設
保育士の月5万円賃上げ



重い教育費の負担をへらし、貧困と
格差が次世代へと連鎖する“負の循
環”をたちきります。安倍政権の「無
償化」は、「学費値上げは容認」「学費
減免は学生の1割」「財源は消費税」
——“看板に偽りあり”です。

3 くらしを支える安心の社会保障に

国保料(税)大幅値下げ

「減らない年金」実現

低年金者に一律年6万円の上乗せ

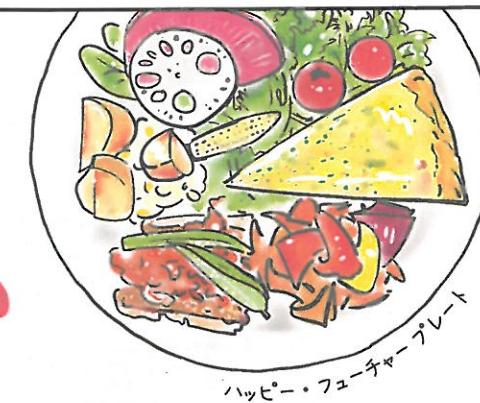


国保料(税)引き下げへ
1兆円の公費投入を。
保守知事がほとんどを占める全国知事会も
政府に要求。共産党は全面的に賛成です。



日本共産党

知ってほしい 共産党のこと



JCPwebマガジン
読みます

MENU-3

「反戦平和」「主権在民」つらぬいて ブレない老舗の 信用力



1922年の創立から、専制政治にたちむかって、国民主権と侵略戦争反対を主張。戦後は、旧ソ連の横暴勝手と対決し、その崩壊を大歓迎。「共産党除く」のオール与党政治には屈しない——相手がどんなに強大でも、「国民にとって、ダメなものはダメ」をつらぬくのが共産党です。



MENU-6

いまこそジェンダー平等を 「性差別許さない」と 戦前から

世界でも日本でも、#MeTooはじめ性暴力やハラスメントに声をあげる人たちの輪が広がっています。希望ある新しい時代へ——共産党は、「女は後ろに」だった戦前から「男女同権」を公然と主張してきた党として、個人の尊厳、多様性が尊重される社会をめざします。



ジェンダー平等めざす
イベントを各地で開催

2019統一地方選挙
各党当選者に占める女性比率



MENU-1
「自由な時間」>「労働時間」

理想こめた ネーミング

私たちがめざすのは、「貧しい平等」や「一党独裁」などではありません。人による人のさく取をなくし、労働時間をうんと短くして、「自由な時間」を大幅にふやし、だれもが自分の潜在能力を、自由に全面的に花ひらかせることのできる未来社会——これが「共産党」にこめた私たちの理想です。



MENU-2

「アメリカ」「財界」は国民より大切?

問題の大もとにズバリ

消費税の増税分が、大企業の法人減税に消えていく。沖縄県民が何度もノーをつきつけても米軍基地建設を強行する安倍政権…。「財界の利益中心」「アメリカいいなり」に、政治がゆがんでいるからです。国民のための政治にエンジンするには、この根本問題にメスを入れる必要があります。

消費税増税分が大企業減税に

消費税=31年間の累計額397兆円

法人3税減収額=累計298兆円

各年度の決算書から作成



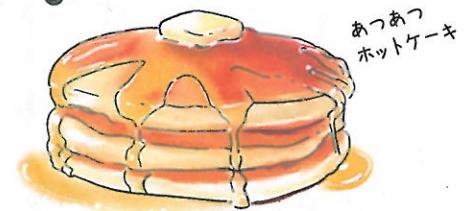
沖縄県辺野古

MENU-4

生活と仕事の現場に党の支部

困ってる人はほっとけない

共産党は「議員中心の党」ではありません。30万人いる党員は、会社員や業者、年金生活者など「ふつうの国民」です。党の支部は、地域や職場、学校ごとに、郵便局の数くらいたくさんつくられ、国民の身近で、困りごとに親身になって活動しています。



MENU-5

「市民+野党」で安倍政治エンジン!

一党でなく 共闘のチカラで

安倍政権が安保法制を強行した2015年。共産党は、「戦争法廃止の国民連合政府」を提唱し、「野党の選挙協力」を呼びかけました。社会を良くする仕事は、一党一派ではなく、幅広い政党、団体、個人が力をあわせて——これが私たちの根本方針だからです。この夏の参院選でも、32の1人区で本気の共闘をつくってがんばります。



核兵器禁止条約採択を喜びあう国連会議のエレン・ホワイト議長と志位和夫委員長、緒方靖夫副委員長=2017年7月7日、ニューヨークの国連本部



MENU-7

いまこそ「原発ゼロ」

原発事故の5年前に 国会で警鐘

2006年、共産党の国会議員は「津波による重大事故の危険」について質問。福島でも共産党県議が対策を要求し、事故後に県議会議長は、「共産党の意見をもっと真剣に受け止めていれば」と反省の弁を述べました。もっともいつかんして「原発の危険」に警鐘をならしてきたのが共産党です。



MENU-8

核兵器ゼロの世界をめざして

禁止条約の 国連会議で演説

2017年にひらかれた「核兵器禁止条約」の国連会議。出席した志位和夫委員長は「被爆者と日本国民の大多数は禁止条約を支持している」と演説しました。日本政府が欠席し、日本の政党で唯一の参加となり、「日本国民の声を届けてくれた」と歓迎されました。